野菜の生育状況及び価格見通し(令和6年12月)について

農林水産省は、東京都中央卸売市場に出荷される野菜の生育状況及び価格(卸売価格)の見通 し(令和6年12月)について、主産地等からの聞き取りを行いましたので、その結果を公表しま す。

1. 背景

近年、天候不順により野菜の価格変動が大きくなっている中で、産地の出荷判断と消費者の購買 行動の最適化を促し、野菜の供給及び価格の安定に寄与することを目的として、平成23年より、 主産地、卸売会社等からの聞き取りを基に、野菜の生育状況や価格の見通しを情報発信していま

今回、聞き取り結果に基づく、令和6年12月の野菜の生育状況及び価格の見通しを次のとおり公表 します。

2. 概要

令和6年12月は、夏秋の産地から秋冬の産地への切り替わり等に伴い、平年並みの価格に落ち着く 野菜が増える見込みです。

前月高値の品目についても、徐々に価格が落ち着く見込みです。

「野菜を食べよう」プロジェクト

農林水産省では、野菜の消費拡大を推進するため、「野菜を食べよう」プロジェクトを実施して います。

野菜はビタミンやミネラル、食物繊維等が豊富に含まれており、毎日を健康で元気に過ごすため に欠かせない食材です。

皆さんもご自宅等で野菜をたっぷり使った料理をお楽しみください。

詳細は次のURLをご覧ください。

https://www.maff.go.jp/j/seisan/ryutu/yasai/2ibent.html



こんがりチーズじゃがいものサーモン ぶなしめじとほうれん草のバター



炒め

「令和4年度「アフターコロナ」を見据えた野菜・果物の消費動向調査と野菜・果物のレシ 「cookpad 農林水産省のキッチン」、「(独)農畜産業振興機構 おすすめ野菜レシピ集」で も野菜のレシピを紹介していますので、是非ご覧ください。

令和4年度「アフターコロナ」を見据えた野菜・果物の消費動向調査と野菜・果物のレシピ

https://www.maff.go.jp/j/seisan/ryutu/engei/aftercovid19/1.html

「cookpad 農林水産省のキッチン」

https://cookpad.com/kitchen/11469357(外部リンク)

「(独)農畜産業振興機構 おすすめ野菜レシピ集」

https://www.alic.go.jp/y-kanri/yagyomu03_000001_00046.html(外部リンク)

3.主要な野菜の生育、出荷及び価格の見通し

品目	主産地 ()書きは令 和5年 12月の入荷 シェア	今後の生育及び出荷見通し	12月の価格見通し (平年(直近5か年平均) 比)
だいこん	千葉(61%) 神奈川(36%)	主産県において、10月の高温や降雨の影響により 歩留まりの低下がみられ、生育は回復傾向にある ものの、12月前半までは出荷数量は平年を下回る 見込み。 全体として、12月前半の出荷数量は平年を下回 り、価格は平年を上回って推移し、12月後半の出 荷数量・価格は平年並みとなる見込み。	12月前半 <mark>平年を上回って推移</mark> 12月後半 平年並みで推移
にんじん	千葉(84%)	千葉県産は8月から9月の高温の影響により細物傾向となっていることに加え、歩留まりの低下がみられ、生育は回復傾向にあるものの、12月前半までは出荷数量は平年を下回る見込み。全体として、12月前半の出荷数量は平年を下回り、価格は平年を上回って推移し、12月後半の出荷数量・価格は平年並みとなる見込み。	平年を上回って推移 12月後半
はくさい	<u>ነ</u> ⁄ታ ThV / U1% ነ	茨城県産は8月から9月の高温の影響により定植が遅れ、生育が遅延傾向であり、12月前半までは出荷数量は平年を下回る見込み。全体として、12月前半の出荷数量は平年を下回り、価格は平年を上回って推移し、12月後半の出荷数量・価格は平年並みとなる見込み。	12月前半 <mark>平年を上回って推移</mark> 12月後半 平年並みで推移

キャベツ	愛知(45%) 千葉(34%) 神奈川(10%)	茨城県産・千葉県産に加え、愛知県産の出荷が増加する。 主産県において、8月から9月の高温、10月の天候不順の影響により小玉傾向となっていることに加え、歩留まりの低下が見られる。 全体として、12月の出荷数量は前半は平年を下回り、後半は平年並みに回復することが見込まれ、価格は徐々に落ち着くものの平年を上回って推移する見込み。	徐々に落ち着くものの
	群馬(43%) 茨城(36%)	主産県において、10月から11月の気温高の影響により生育が前進していることに加え、細物傾向となっているものの、生育は回復傾向にあり、12月の出荷数量・価格は平年並みとなる見込み。	平年並みで推移
ねぎ	茨城(24%) 千葉(20%) 埼玉(15%) 栃木(11%)	茨城県産・千葉県産の出荷に加え、埼玉県産の出荷が増加する。 主産県において、8月から9月の高温の影響により 歩留まりの低下がみられ、生育は回復傾向にある ものの、12月前半までは出荷数量は平年を下回 る見込み。 全体として、12月前半の出荷数量は平年を下回 り、価格は平年を上回って推移し、12月後半の出 荷数量・価格は平年並みとなる見込み。	12月前半 <mark>平年を上回って推移</mark> 12月後半 平年並みで推移
1		茨城県産に加え、静岡県産・香川県産・長崎県産が増加する。 茨城県産は10月以降の気温高の影響により生育が前進しており、切り上がりが早くなるため、12月の出荷数量は平年を下回る見込み。静岡県産・香川県産・長崎県産は10月から11月の気温高の影響により歩留まりの低下がみられ、生育は回復傾向にあるものの、12月前半までは出荷数量は平年を下回る見込み。 全体として、12月前半の出荷数量は平年を下回り、価格は平年を上回って推移し、12月後半の出荷数量・価格は平年並みとなる見込み。	12月前半 <mark>平年を上回って推移</mark> 12月後半 平年並みで推移
きゅうり	宮崎(47%) 千葉(15%) 亭知(12%)	埼玉県産が減少し、宮崎県産・千葉県産・高知県 産の出荷が増加する。 主産県において、8月から9月の高温、10月の曇天 や降雨の影響等により生育不良がみられ、生育は 回復傾向にあるものの、12月の出荷数量は平年を 下回り、価格は平年をやや上回って推移する見込 み。	徐々に落ち着くものの

	福岡(19%)	主産県において、8月から9月の高温、10月から11月の曇天や気温の乱高下の影響により生育不良がみられ、生育は回復傾向にあるものの、12月の出荷数量は平年をやや下回り、価格は平年をやや上回って推移する見込み。	
トイト	栃木(16%)	主産県において、9月から10月の気温高の影響等により生育不良がみられるものの、生育は回復傾向にあり、12月の出荷数量は後半に向けて平年並みに回復する見込み。価格は徐々に落ち着くものの平年を上回って推移する見込み。	徐々に落ち着くものの
ピーマン	にか いし ノタ%)	茨城県産の出荷が減少し、宮崎県産・鹿児島県産・高知県産の出荷が増加する。 茨城県産は10月から11月の曇天や気温の乱高下の影響により、切りあがりが早くなっている。宮崎県産・鹿児島県産・高知県産は8月から9月の高温、10月の曇天や降雨の影響により生育不良がみられる。 全体として、12月の出荷数量は前月よりは回復するものの平年を下回り、価格は徐々に落ち着くものの平年を上回って推移する見込み。	前月から 徐々に落ち着くものの 平年を上回って推移
ばれい しょ		北海道産に加え、長崎県産が増加する。 北海道産は収穫及び貯蔵が完了。長崎県産は8月 から9月の高温の影響により生育遅れや生育不良 がみられるものの、大幅な出荷数量の減少は見込 まれない。 全体として、12月の出荷数量・価格は平年並みと なる見込み。	平年並みで推移
さといも	` ′	主産地において、生育は順調であり、12月の出荷 数量・価格は平年並みで推移する見込み。	平年並みで推移
たまねぎ		北海道産は、収穫及び貯蔵が完了。 12月前半の出荷数量・価格は平年並みで推移する ものの、9月から10月の干ばつの影響により小玉 傾向となっており、12月後半の出荷数量は平年を 下回り、価格は平年を上回って推移する見込み。	12月前半 平年並みで推移 12月後半 平年を上回って推移

主産地において、8月から9月の高温の影響により 生育遅れや歩留まりの低下がみられ、生育は回復 傾向にあるものの、12月前半までは出荷数量は平 年を下回る見込み。 全体として、12月前半の出荷数量は平年を下回 り、価格は平年を上回って推移し、12月後半の出 荷数量・価格は平年並みとなる見込み。

注:「平年並み」とは、平年(過去5か年平均)との比率が概ね90%以上、110%以下であることを示しています。

なお、2020年基準消費者物価指数によると、令和6年10月の総合の指数は109.5、食料の指数も120.4と上昇傾向にありますが、本プレスリリースについては、主産地、卸売会社等からの聞き取りをもとに過去5か年平均を基準として作成しておりますこと、ご留意ください。

<添付資料>

東京都中央卸売市場における指定野菜の価格の平年比(PDF: 91KB)

これまでの公表資料は、次のURLページで公開しております。 https://www.maff.go.jp/j/seisan/ryutu/yasai_zyukyu/

【お問合せ先】 農産局園芸作物課

担当者:宮嶋、栗田、島﨑、渡邉 代表:03-3502-8111(内線4822) ダイヤルイン:03-3502-5961